

月例経済報告等に関する関係閣僚会議資料

平成19年5月22日
内閣府

<日本経済の基調判断>

景気は、生産の一部に弱さがみられるものの、回復している。

企業収益は改善。
設備投資は増加。

雇用情勢は、
厳しさが残るもの
の、改善に広がり
がみられる。

個人消費は、持ち
直しの動きがみら
れる。

輸出は、横ばい。
生産は、このところ
横ばい。

(先行き)

- ・先行きについては、企業部門の好調さが持続し、これが家計部門へ波及し国内民間需要に支えられた景気回復が続くと見込まれる。
- ・一方、原油価格の動向が内外経済に与える影響等には留意する必要がある。

<政策の基本的態度>

政府は、「日本経済の進路と戦略」に沿って、「新成長経済」の実現に向けた改革への取組を加速・深化する。4月25日、経済財政諮問会議において我が国経済全体の生産性を高めることを目指す「成長力加速プログラム」をとりまとめた。

政府・日本銀行は、マクロ経済運営に関する基本的視点を共有し、物価の安定基調を確実なものとするとともに、物価安定の下での民間主導の持続的な成長を図るため、一体となった取組を行う。

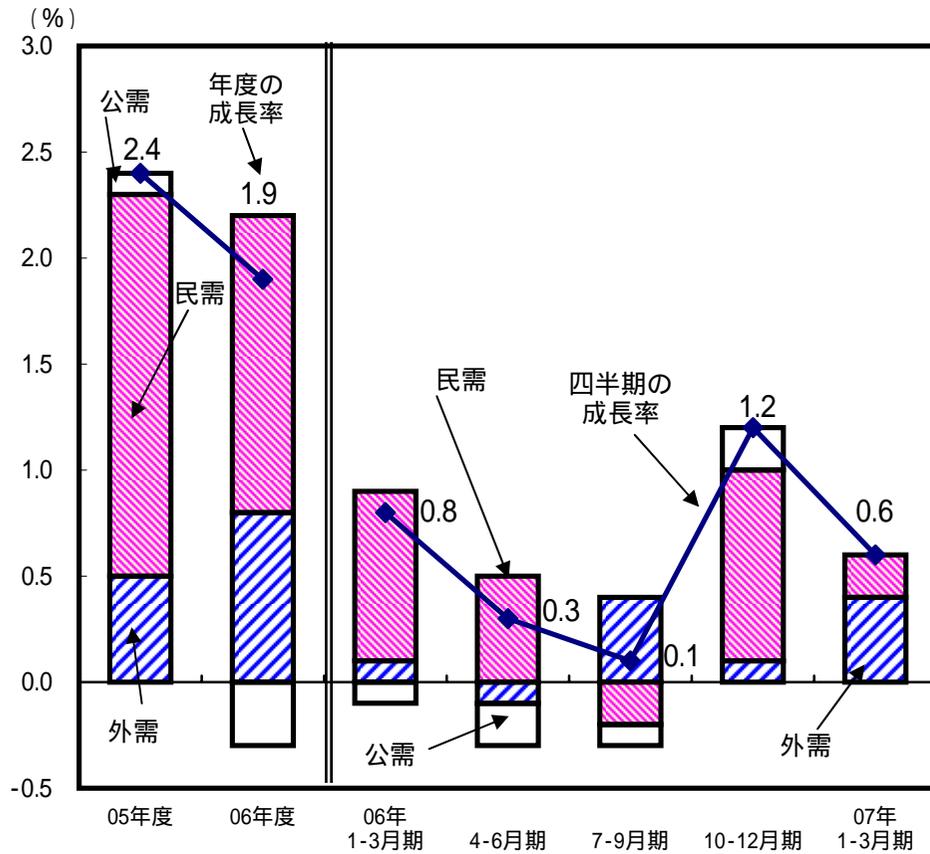
今月の説明の主な内容

- 1 経済の動向 — 経済成長が持続
- 2 海外経済 — 米国は住宅建設減少等により減速
- 3 海外経済 — 中国景気は拡大、欧州は回復
- 4 物 価 — デフレ脱却は視野に入っている
- 5 中小企業 — 最近の雇用情勢
- 6 金融資産 — 株式を中心に家計の金融資産が増加
- 7 地域経済 — 最近の消費動向

経済の動向

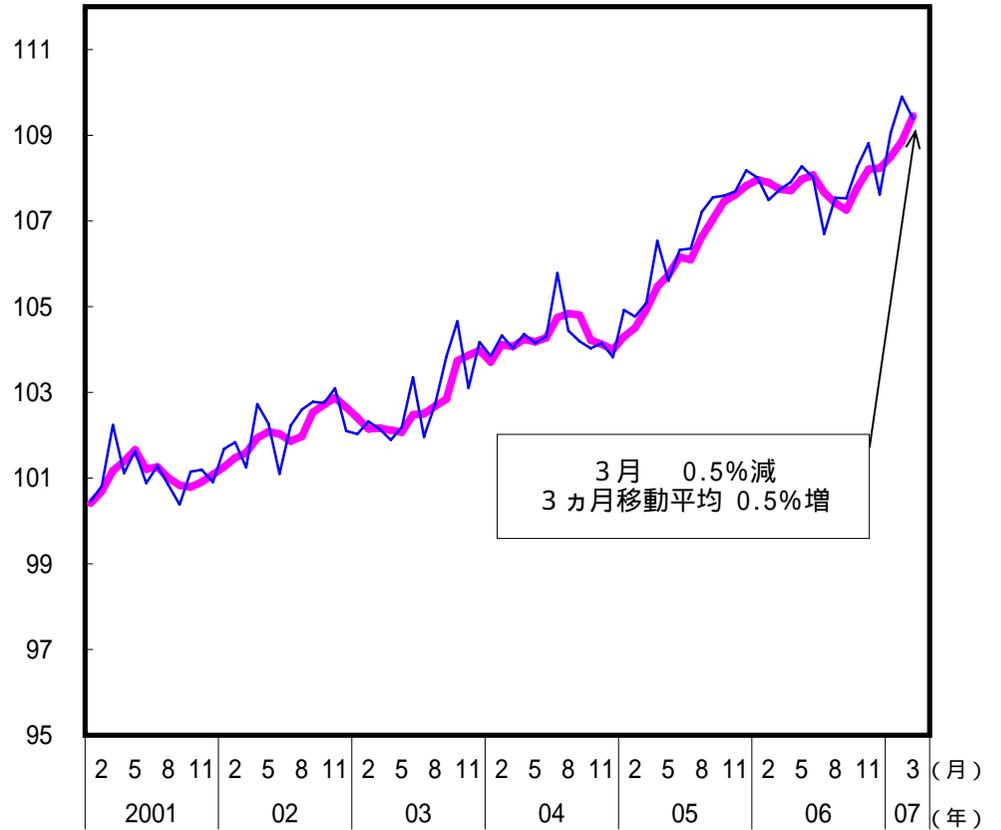
2006年度は民間需要に支えられた
経済成長が持続

個人消費は、持ち直しの動きがみられる



消費総合指数の推移

(2000年=100)



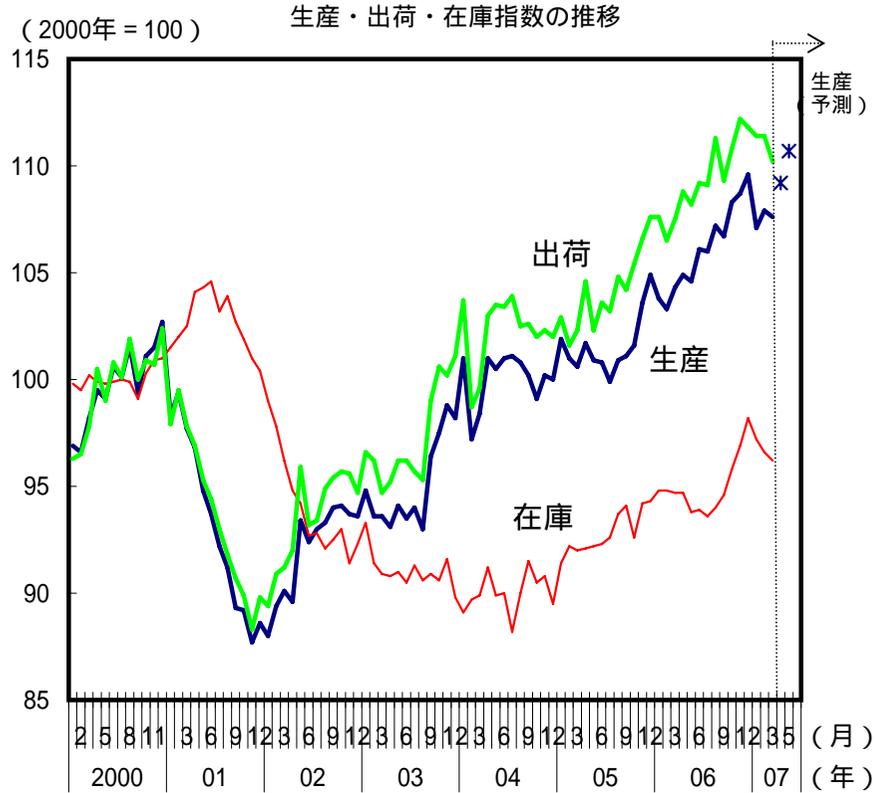
(備考) 内閣府「国民経済計算」より。

(備考) 消費総合指数は、内閣府(経済財政分析担当)で作成。季節調整値。太線は後方3ヶ月移動平均により均したもの。

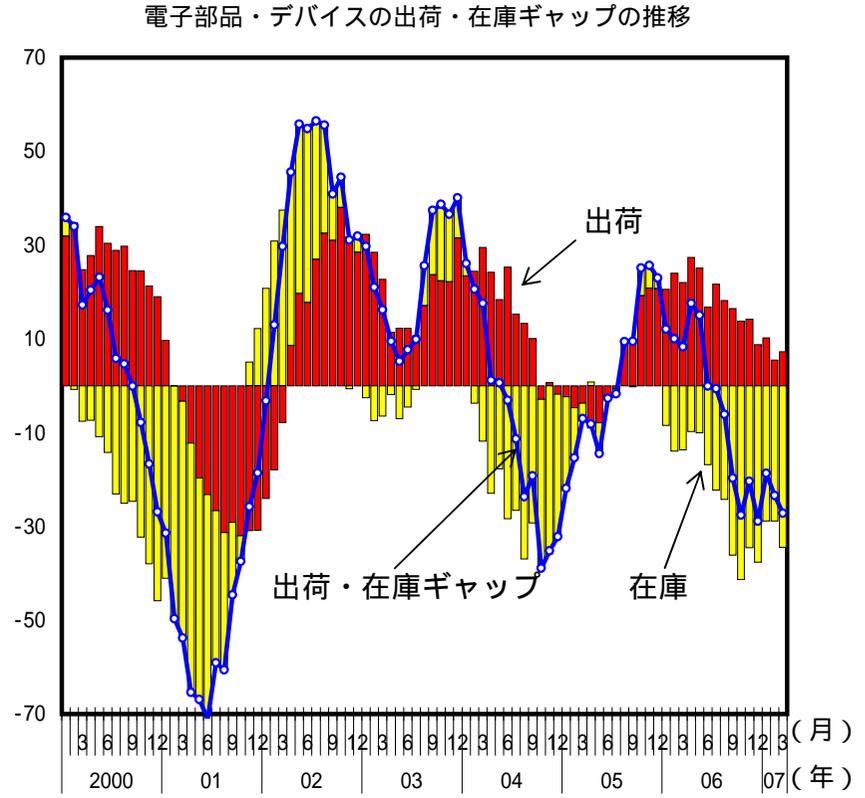
経済の動向

鉱工業生産はこのところ横ばい

電子部品・デバイス
の出荷・在庫ギャップ
はマイナス圏で推移



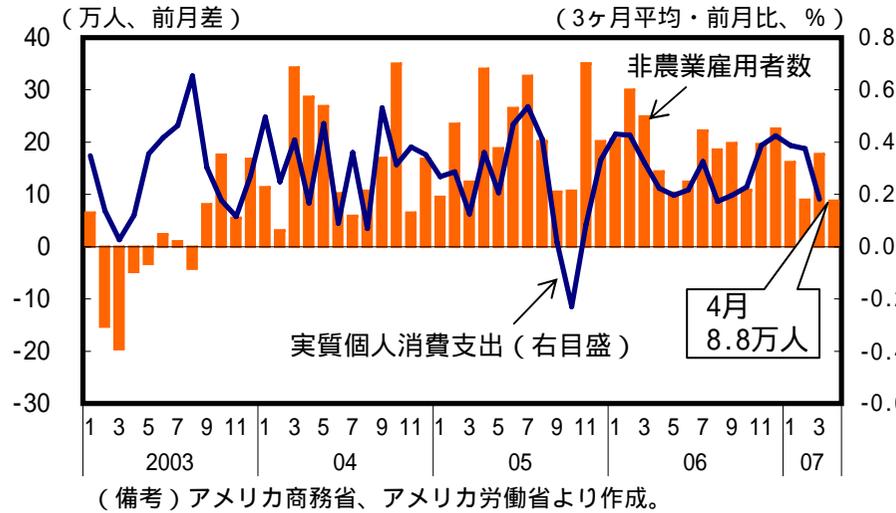
- (備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。
2. 季節調整値。
3. 2007年4月、5月の生産については、予測指数の数値。



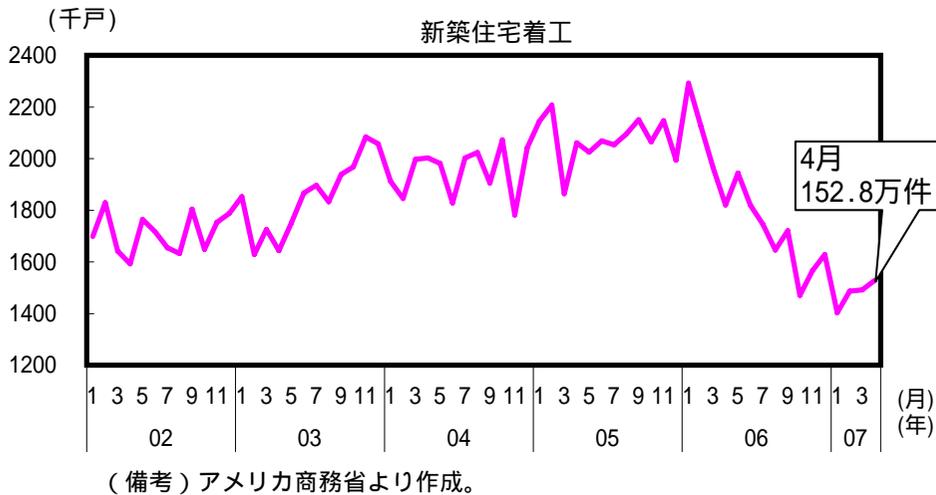
- (備考) 1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。
2. 出荷・在庫ギャップ(% p) = 出荷前年比(%) - 在庫前年比(%)

海外経済の動向 (アメリカ)

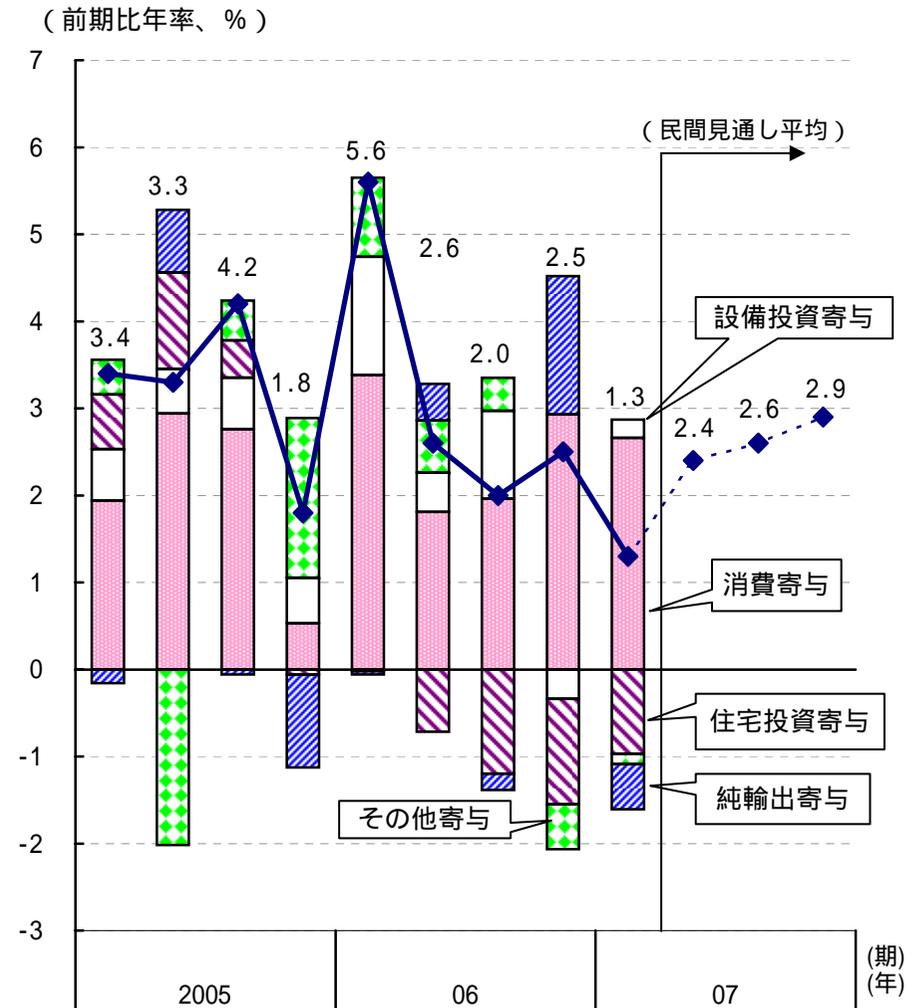
消費：個人消費は増加している
 雇用：雇用者数は増加している



住宅：住宅建設は減少している



GDP：2007年1-3月期は前期比年率1.3%成長に減速

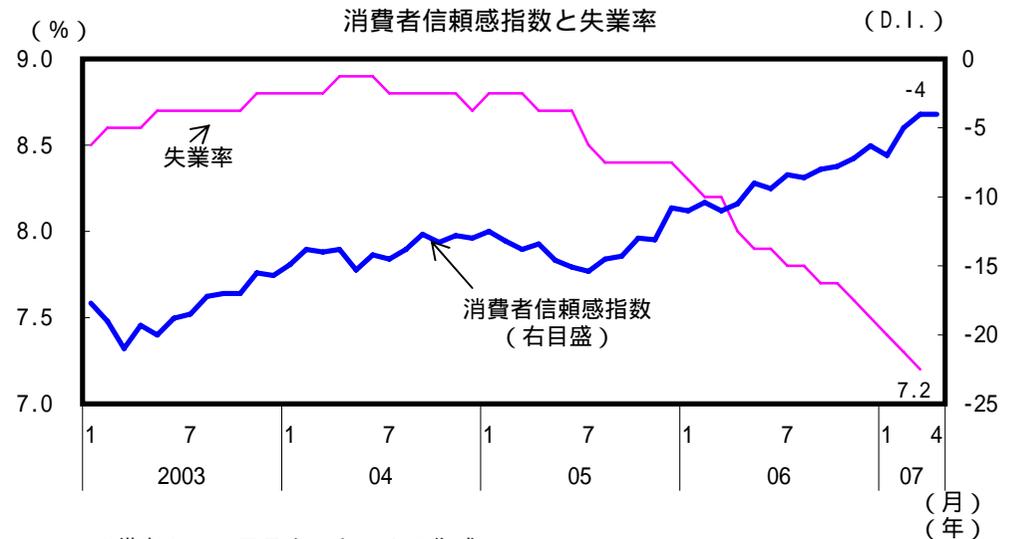
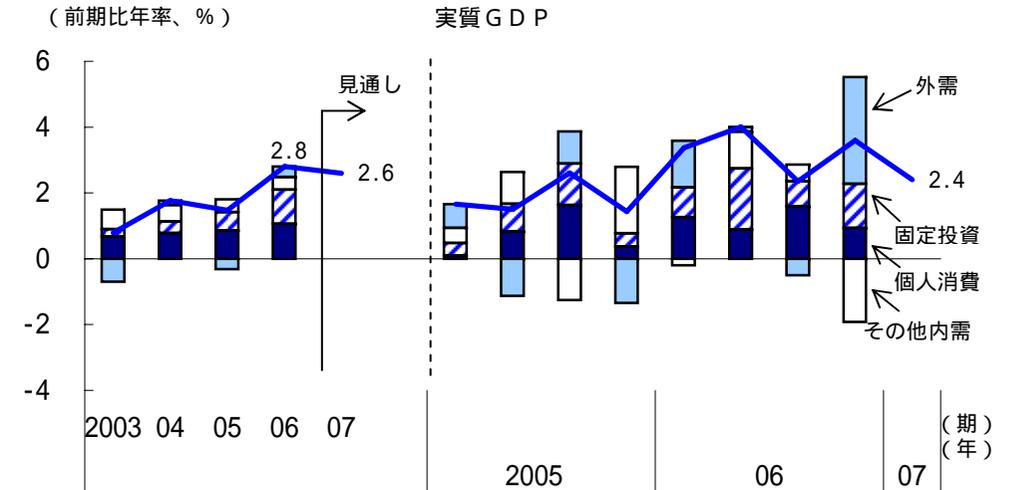
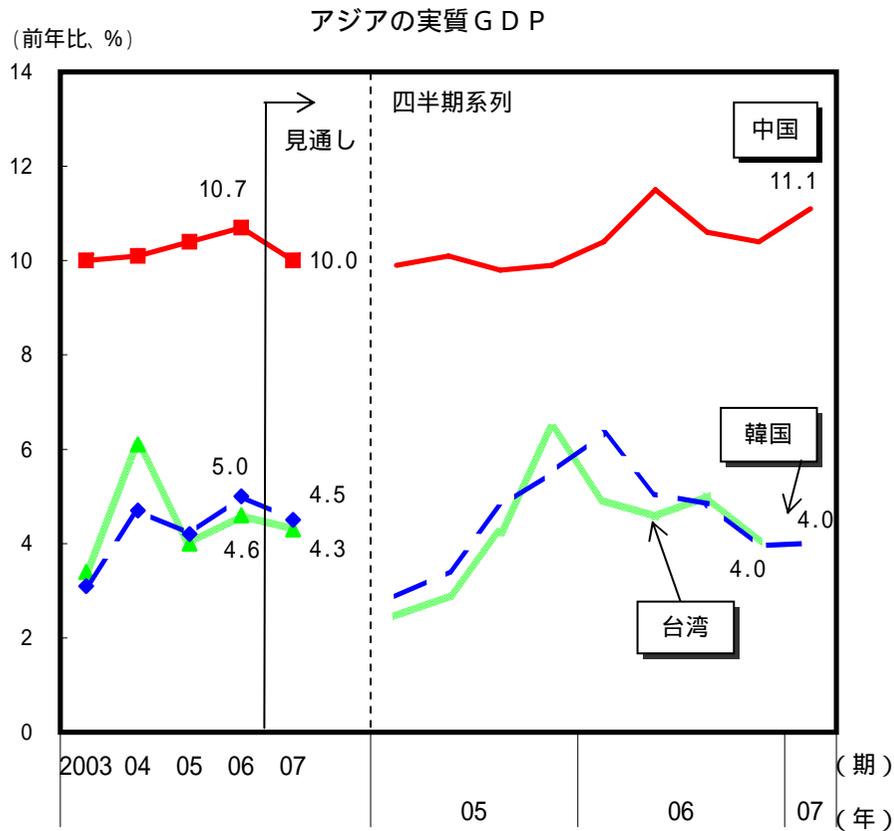


(備考) アメリカ商務省、ブルーチップ・インディケータ (5月10日号) より作成。

海外経済の動向 (アジア、ヨーロッパ)

中国：景気は拡大している
 韓国・台湾：景気は緩やかに拡大している

ユーロ圏：景気は回復している
 2007年1-3月期のGDPは前期比年率2.4%成長



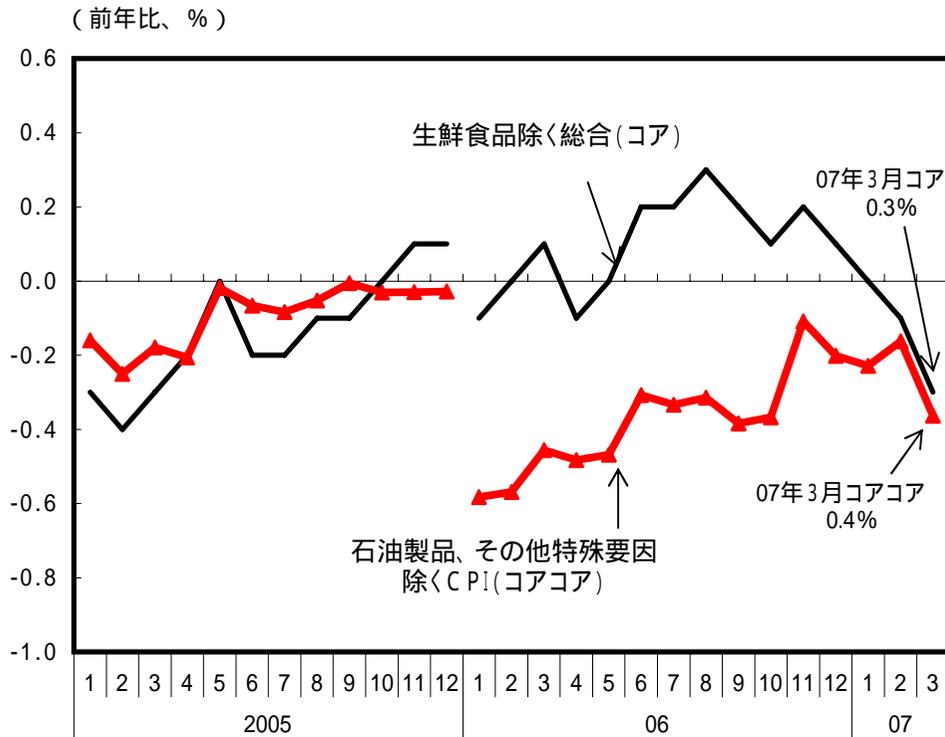
(備考) 1. 各国・地域統計により作成。
 2. 見通しの数値はアジア開発銀行より作成。

(備考) ユーロスタットにより作成。

各種物価指数の動向

消費者物価(生鮮食品除く総合、コア)は
前年比0.3%下落。

石油製品、その他特殊要因を除く消費者物価
(コアコア)は、前年比0.4%下落。



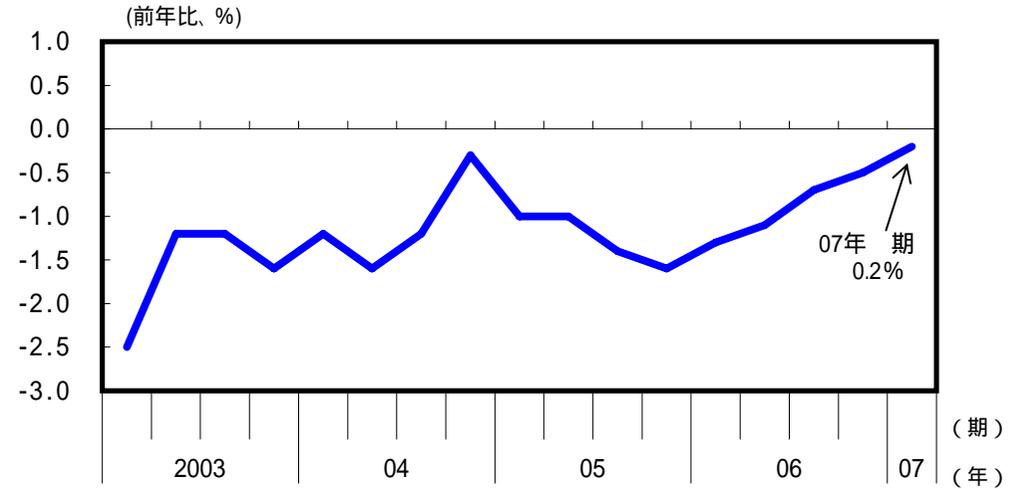
(備考) <左図>

1. 総務省「消費者物価指数」により作成。
2. 「石油製品、その他特殊要因を除くCPI(コアコア)」は、「生鮮食品を除く総合(コア)」から、石油製品、電気代、都市ガス代、鶏卵、米類、切り花、固定電話通信用料、診療代、介護料、たばこを除いたもの。
3. 2005年12月までは2000年基準、2006年1月からは2005年基準。

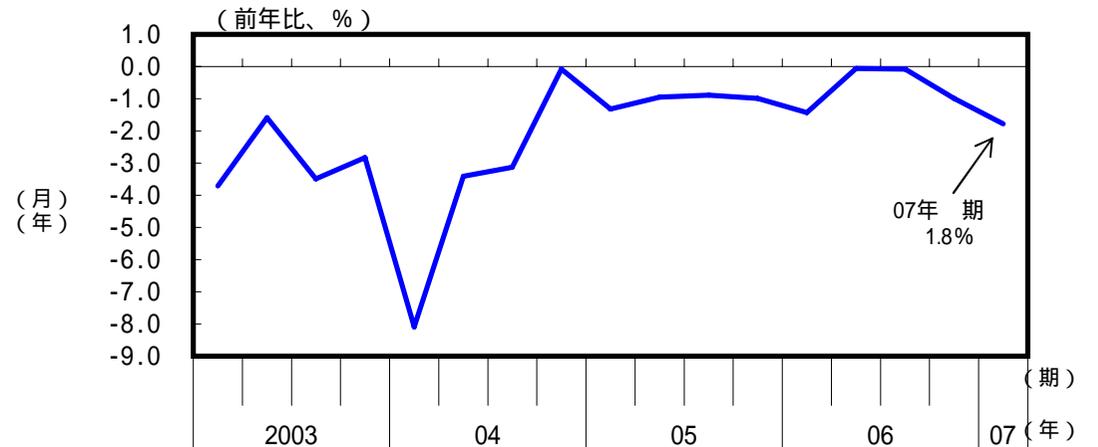
<右図>

1. 内閣府「国民経済計算」により作成。
2. (単位労働費用) = (1単位の生産に要する人件費) / (実質GDP)。

GDPデフレーターの前年比マイナス幅は縮小傾向で推移

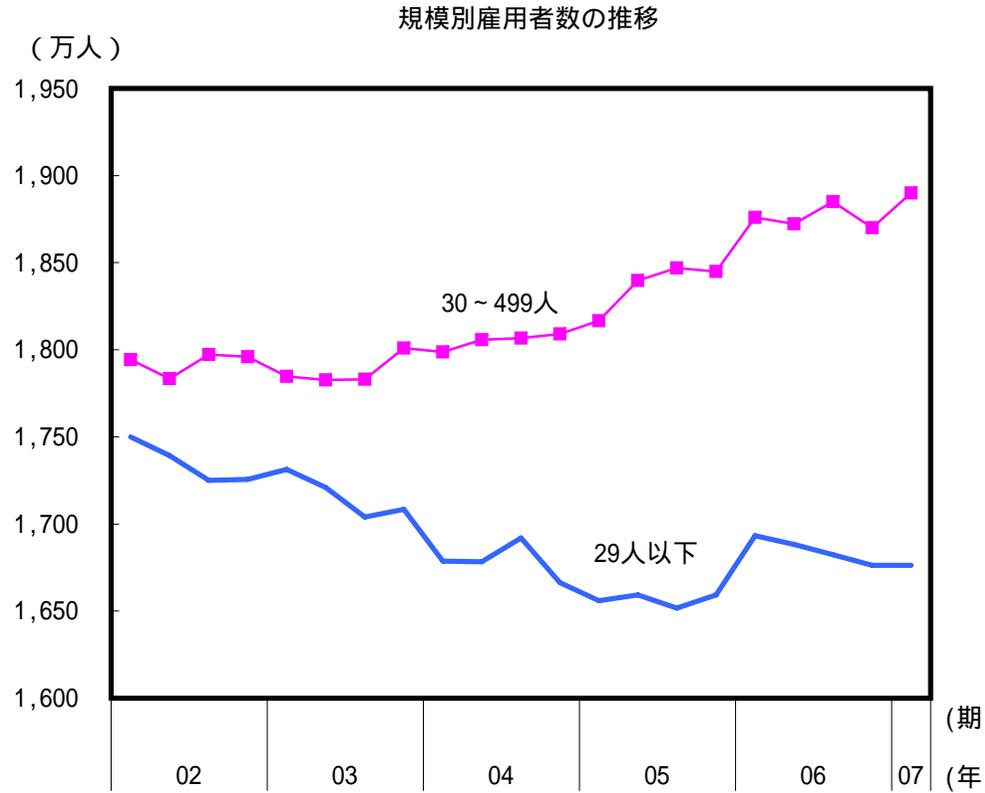
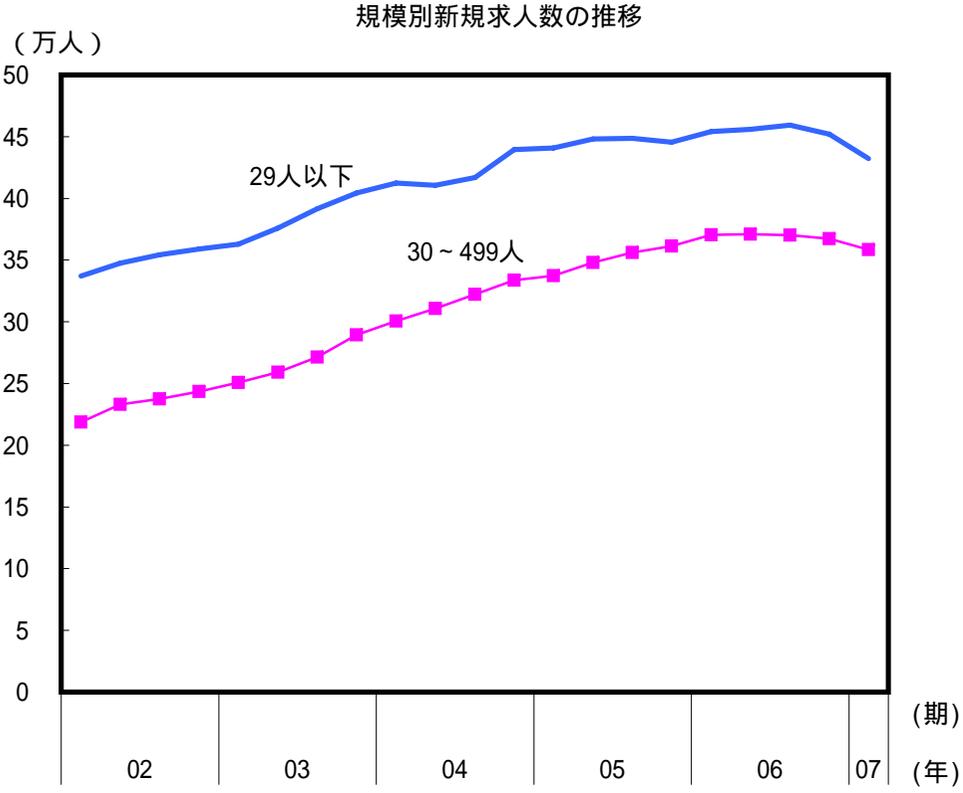


単位労働費用(賃金面からの物価上昇圧力を示す指標)は、
前年比のマイナス幅に拡大がみられる



中小企業の動向

雇用環境が改善する中で、規模が小さい企業も求人を増やしているが、雇用者数は増えていない。



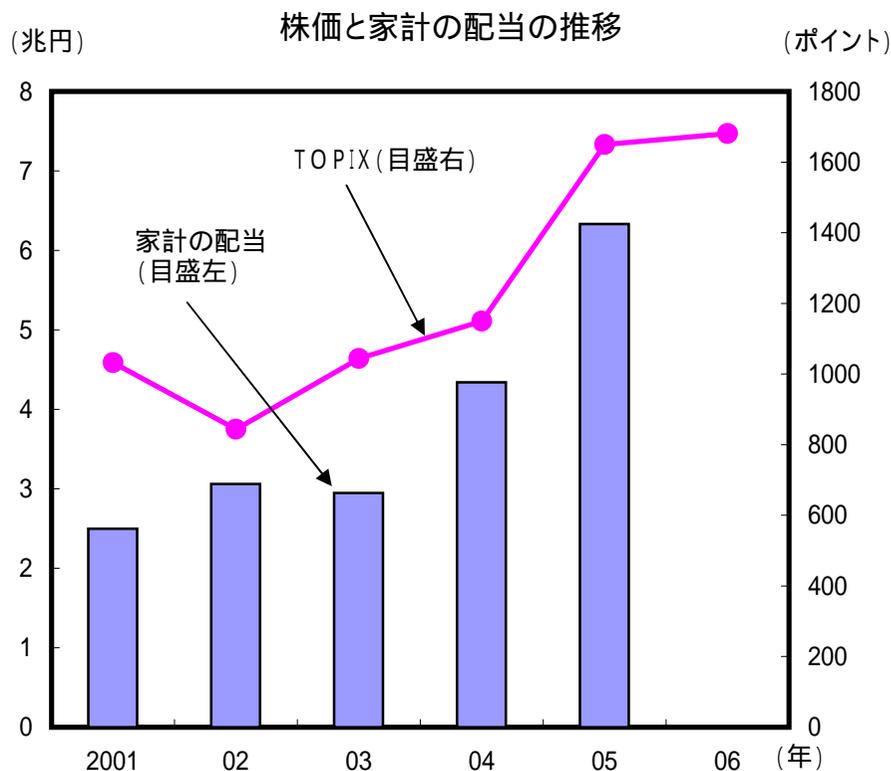
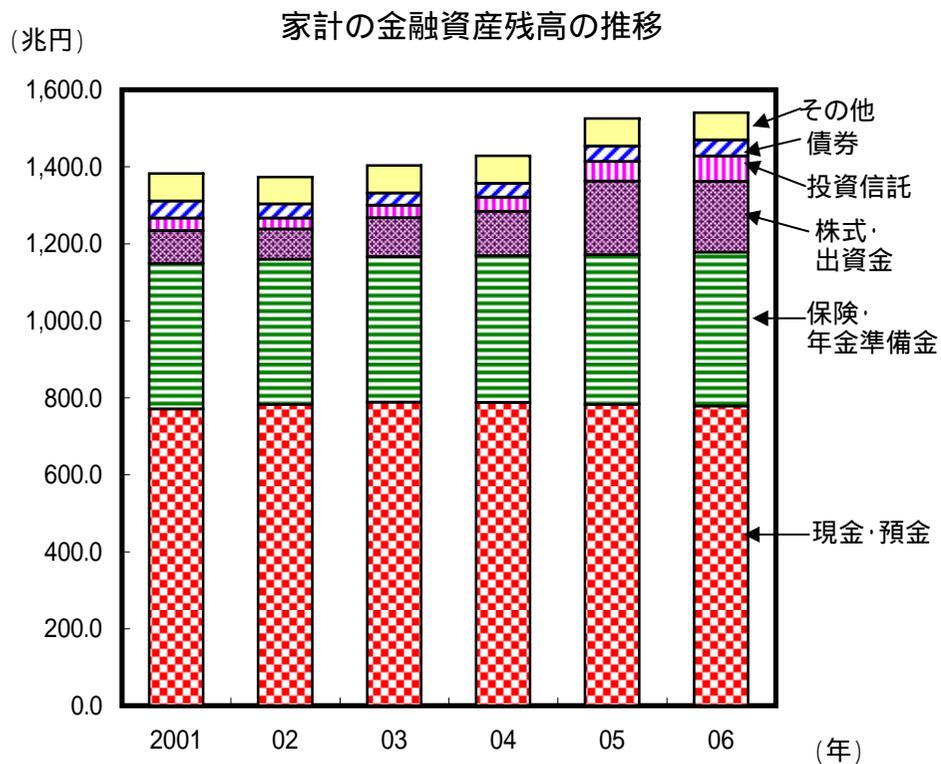
(備考) 1. 厚生労働省「職業安定業務統計」により作成。
2. データは月次の原数値を四半期平均し、内閣府にて季節調整(X-12デフォルト)をかけた。

(備考) 1. 総務省「労働力調査」により作成。
2. データは月次の季節調整値を内閣府にて四半期平均をとった。

家計の金融資産の動向

家計の金融資産は増加し、2006年に過去最高となった。
株式・出資金、投資信託が増加している。

株価の上昇は、家計のキャピタルゲインに寄与。
家計の配当は増加している。



(備考)

1. 日本銀行「資金循環統計」により作成。
2. 債券は、株式以外の証券（国債、金融債、事業債、信託受益権等）から投資信託を除いたもの。

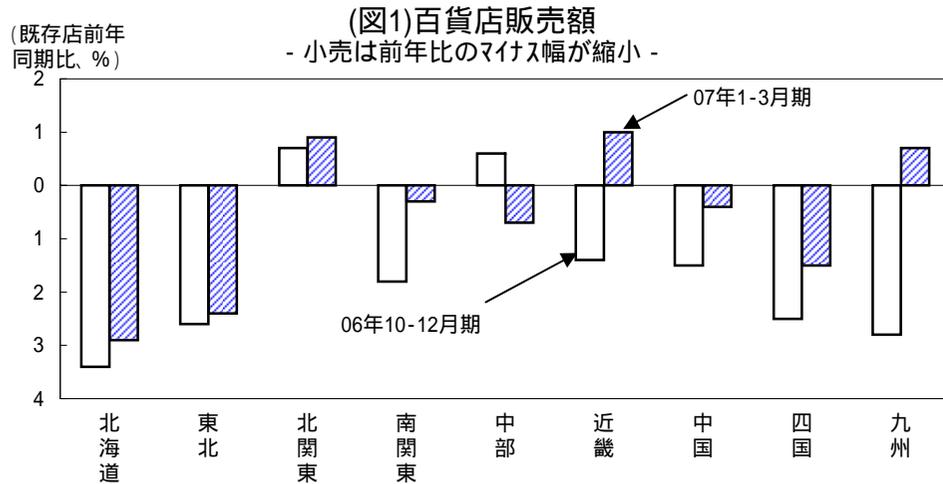
(備考)

1. 内閣府「国民経済計算」等により作成。
2. TOPIXは年末値。
3. 家計の配当の2006年の値は未公表。

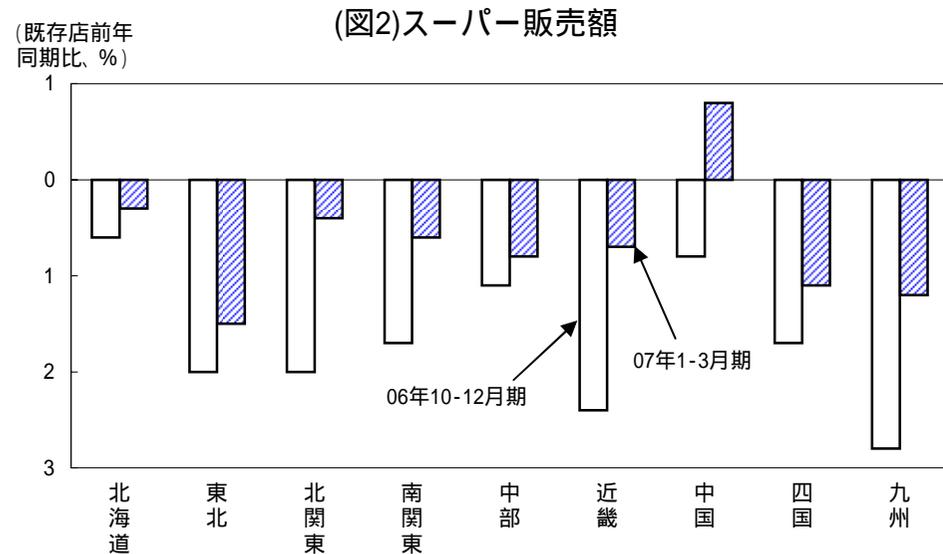
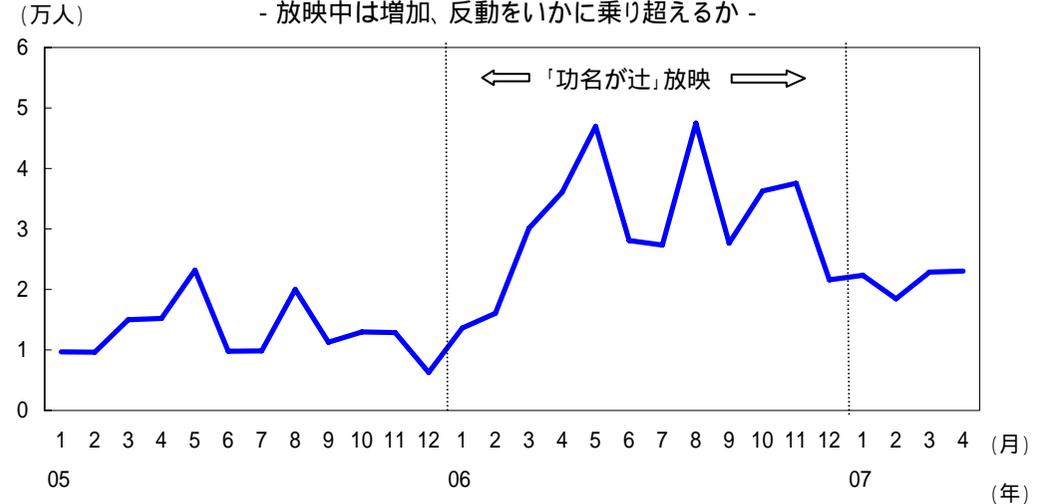
地域経済の動向

最近の地域の個人消費の動向

地域経済とコンテンツ産業



大河ドラマの経済効果 (例: 高知城入場者数)
- 放映中は増加、反動をいかに乗り越えるか -



地域の人的資源を観光の目玉に

- ・ 藤沢周平記念館 (山形県鶴岡市)
「蝉しぐれ」のオープンセットなどが観光客を集めたことから、没後10年となる07年から記念館の着工を開始。観光資源に。
- ・ コロッケの町高岡 (富山県高岡市)
全国有数のコロッケ消費地である高岡市が、同市出身の藤子・F・不二雄氏のキャラクター「コロ助」(コロッケ好き)をイメージキャラクターに活用。
- ・ 青山剛昌ふるさと館 (鳥取県北栄町)
ホクエイチョウ
07年3月開館、4月8日には予定より5日早く入館者1万人突破。「名探偵コナン」の原作者である青山氏の魅力を紹介。
- ・ 坂の上の雲ミュージアム (愛媛県松山市)
07年4月開館、司馬遼太郎原作の「坂の上の雲」の魅力を伝える。松山市全体をフィールドミュージアムとする構想の一角を担う施設。
- ・ やなせたかし記念館 (アパマンミュージアムなど) (高知県香美市)
カミ
96年開館、今年のゴールデンウィークの観光客数は高知県内1位。やなせたかし氏が私財を投じて建築し、故郷の町に寄付。

(備考) 経済産業省「商業販売統計」、高知城管理事務所へのヒアリング、関連HPにより作成。